

中山間地域等 直接支払制度

～魅力ある地域づくりを目指して～

平成22年度に始まった第3期活動も実施4年目を迎え、農業者主導によるさまざまな活動が行われています。その概要と取り組みを紹介します。

■制度の概要

この制度は、農業の生産条件に不利な農地を耕作する農業者が参加する「集落」に、その面積に応じた交付金を国・道・町が交付し、農地と農業が持っている防災機能や豊かな農村景観などの多面的な機能を守っていくというものです。

第3期も従来の補助事業と違い、参加者が考え協働しながら、活動内容を決めて取り組んでいくことは第1期、第2期と変わりません。

本町では町内20地域がまとまって一つの集落として町内全域の集落協定を締結しています。

この標茶集落には年に4億円を超える交付金が交付され

そのうち2分の1以上は参加者による共同取組活動に、残り個人に交付しています。集落協定や共同取組活動の内容は、各地域での話し合いの結果を各地域の代表者全員で協議し決定します。平成24年度に行われた共同取組活動内容について紹介します。

■効率的で安定的な農業の確立
農業の活力は地域の元気に直結するものであるとの考えから、効率的で安定的な農業の確立を目指し、次のような取り組みを実施しています。

土・草・家畜の資源リサイクルを目指し、家畜ふん尿の有効利用に係る経費の助成、パドック整備を進めています。

また、環境に配慮した営農を目的として畜舎排水処理施設設置への助成や、健康で優良な育成牛生産を目指す目的から公共牧場の維持管理、コントラクターの利用による効率的な営農システム確立に向け取り組みをしています。

また、環境に配慮した営農を目的として畜舎排水処理施設設置への助成や、健康で優良な育成牛生産を目指す目的から公共牧場の維持管理、コントラクターの利用による効率的な営農システム確立に向け取り組みをしています。

平成24年度集落協定の概要

- 集 落 名／標茶町標茶集落
- 協 定 参 加 者／農業者338人、生産組織など33組織
- 協定農用地面積／傾斜8度以上の草地 12,520,872㎡
平らな草地 241,820,277㎡
合 計 254,341,149㎡
- 平成24年度交付金額／交付金総額 400,293,031円
うち個人配分額 180,076,521円
共同取組額 220,216,510円
- 平成24年度共同取組活動費内訳／

役員報酬・事務経費	8,517,579円
土地立脚畜産	
農用地等保全マップ活動	28,959,231円
景観整備による消費者交流	
畜舎の屋根塗装	7,408,340円
景観牧柵の整備	5,980,299円
地域の清掃活動	1,369,500円
地域花壇の設置	1,542,261円
廃プラスチックの適正処理	6,960,168円
農村公園の維持管理	10,344,500円
地場産農産物の消費拡大運動	301,686円
農道・水路の維持管理	1,082,500円
他集落との連携	298,400円
効率的で安定的な農業の確立	
堆肥の適正利用	17,104,991円
パドックの整備	5,428,520円
公共牧野の維持管理	31,611,761円
コントラクターの利用	24,068,195円
畜舎排水処理対策	1,000,000円
畜舎内LED化	4,429,200円
担い手確保・人材育成	
農業研修支援	1,561,638円
慶弔時のヘルパー支援	1,059,617円
生活環境整備による地域づくり	
地域会館周辺の整備	3,996,900円
農場周辺舗装	25,429,407円
有害鳥獣駆除・家畜自衛防疫対策	3,278,570円

※金額は前年度からの繰越額を含む

■担い手の確保・人材育成

地域振興・農業振興の基礎となる担い手農業者の確保のため、農業研修に対する支援を行い、人材の育成や地域農業の中核となる農業者の確保に向けて取り組んでいます。また、酪農ヘルパーの活用を支援することにより、営農意欲の増進につなげていくなど、後継者対策にも取り組んでいます。

■景観整備による消費者交流
農村景観のグレードアップを目指し、道路沿いなど住民の目に触れることの多い場所にある畜舎の屋根塗装や景観

牧柵の整備に取り組んだほか、農業用廃プラスチックの適正処理や地域の清掃、花壇の整備により環境の美化に取り組んでいます。

また、農村公園の草刈りや清掃などの維持管理、農道や水路の維持管理に対しても助成を行い、農村景観の整備増進や集落内外の住民との交流を促進したり、横浜市立南高校文化祭に参加し、地場産農産物の消費拡大運動を実施するとともに、同校の修学旅行受入れ事業により都市住民との交流を進めてきました。

■生活環境整備による地域づくり

地域の魅力づくりや営農意欲向上のため、地域の拠点施設である地域会館の整備や農場周辺の環境整備について取り組み、継続的な生活環境の整備を進めています。

また、有害鳥獣対策にも力を入れますとともに、家畜の疾病予防対策として「初乳加温器」についても前年に引き続き、導入を進めています。

■問い合わせ／役場農林課 農業企画係（2階⑭番窓口）
485-2111内線242

平成24年度 全日本学校関係緑化コンクール表彰校・学校林活動の部

中茶安別小中学校

特選受賞!

中茶安別小中学校では1931年から児童生徒による学校林活動が行われ、本年度で83年目を向かえます。子どもたちが自然と触れ合うことで学校林活動のほか、環境に興味をもち、自然への好奇心を育てることを目的として、さまざまな活動に取り組んできました。この活動が実を結び、平成24年度全日本学校関係緑化コンクール表彰校、学校林活動の部で特選(農林水産大臣賞・日本放送協会会長賞)の受賞が決定しました。

5月26日には鳥取県で開催する第64回全国植樹祭式典において表彰されています。



春

普段見ない木の年輪を調べたり、水辺を調べて小動物を観察したりと、体験から地域の歴史を学びます。



夏

樹木の種の観察や木登りを通して、自然への好奇心を育みます。猛暑の中、木陰での体験学習は快適で勉強意欲も高まります!



秋

森は動物たちのすみ場所です。巣箱の清掃をして動物たちが生きやすい環境を作るのも一つの環境を考える学習方法です。秋の落ち葉拾いも色とりどりで楽しんで勉強しています。



冬

雪上の動物の足跡を追跡し、動物の観点から自然を感じることで、違った見方が出来る感性を育みます。